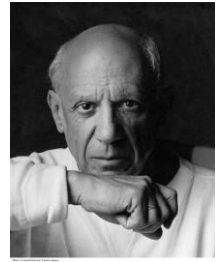


図書館だより

5月号



○ Column 偉人の名言

Every child is an artist.

The problem is whatever he/she can stay as an artist even after he/she grows up.

～ Pablo Diego Jose Francisco de Paula Juan Nepomuceno Maria De los Remedios Cipriano de la Santisima Trinidad Ruiz y Pcaso ～

日本語訳

子供は誰でも芸術家だ。

問題は大人になっても芸術家でいられるかどうかだ。

～パブロ ディエーゴ ホセ フランシスコ デ パウラ ホアン ネポムセーノ マリア デ ロス レメディアス クリスピーン クリアーノ デ ラ サンティシマ トリニダード ルイス イ ピカソ～

補足

ピカソは上記のとおり名前が長いことや「ゲルニカ」という絵を描いたことで有名です。彼は 8 歳のころ、画家だった父親にリンゴを書かされたのですが、そのピカソが描いた絵はあまりにも上手で、父親が画家をやめてしまうほどです。そんな幼いころから才能があったピカソでさえも、このようなことを言う。いや、ピカソだからこそ言えたのかもしれませんが。

確かに私たちは年をとるにつれて常識を学びます。しかし、そうすることでその常識というものにとらわれすぎているのかもしれませんが。

本との出逢い ☆☆☆☆☆

理科 瀬川 明宏

本の効能

「たくさんの本を読んだものだ」とは決して言えない。しかし、本がなければ今の自分＝教師は存在しないのではないかと思う。受験参考書は数に入れなくても、科学（化学）の専門書や論文などを通して、蓄積されてきた知識や最新情報の一端に触れることができた。スポーツにおいては、競技経験のないサッカーやソフトテニスなども解説書でルールから練習法・戦術などを学び、部活動を少し（?）、熱く楽しむこともできた。野球も若い頃には技術書を読んだが、近年は野村克也氏の「野球論」に関する本を読むと「人生論」が聞こえてくるような感じがする。教師になってからの愛読書は、篠山市出身・河合隼雄氏の著書である（CDも買った!）。最初は生徒の『こころ』を知りたいと読み始めたが、読み進めていくうちに、日本の文化、宗教、昔話、男と女、生と死、中年の危機や家族など、入り口では想像もしなかった様々な広く深い世界に遭遇することができた。実際に経験したのは、たった一人の約50年のささやかな人生。しかし、読書によって、長い年月をかけて蓄積されてきた知識や自分の知らない世界を垣間見ることができる。「実体験」に勝るものはないが、本はその不足分をカバーし、人生を人間を豊かにするために不可欠な栄養剤であると、つくづく感じる。

オール1の落ちこぼれ
教師になる
宮本 延春

中学時代の成績は「オール1」だった。中卒で見習いの大工に就職するが、両親が早くに亡くなってしまふ。しかし、アインシュタインのビデオを見て猛勉強をはじめ難関大学に合格。教師の道に進む。目標に向かって努力する大切さを感じられる作品です。

T・D

ローマ帝国 人物列伝

本村 凌二
祥伝社 新書

みなさんは歴史が大好きですか？
もし、忙しい方はこの本を読むのを
お勧めします。

なぜなら、この本は 2000年続いた
ローマ帝国を、その時に生きていた人物が
たどり、小説を読んでいる感覚で
読むことができるからです。
また、その時々起こった出来事や、文化、
それによって変わる人々の考え方も読みと
ることができ、とてもおもしろいです。
是非、読んでみてください。

U.K.

博士の愛した数式

小川 洋子

この話は 1人の家政婦が
1人の博士の所に仕事に行く
ところから始まります。

そこから繰り広げられる家政婦
とその息子、そして博士この3人の
愛が様々な形を通して感じられる
物語です。

R・A

今回から、図書委員さんの作成した図書館だよりとなります。

今回は、3年1組、3年2組、3年3組の図書委員さん、ありがとうございます！上手くできたかな？